

# 関東安陵会の皆様へ

本部安陵会会長 丸 田 卯禮男

奄美は、新緑の目映い季節となって参りましたが、皆様にはご壮健でご活躍のことと拝察致します。

まずはじめに、この度は、熊本地震災害で犠牲者となられた方へ哀悼の意を捧げ、甚大な被害に遭われた方々へ、皆様と共に心からお見舞い申し上げたいと思います。

昨年、安陵出身屋村優一郎校長は、甲子園をはじめ進路指導面でも、大きな成果を残され、退職を目前に急逝いたしまして、痛恨の極みでありました。

後任の池田浩一校長は、屋村優一郎校長の思いを引き継ぎ、母校の充実発展にご尽力されており、3月26日の南日本新聞でも文武両道の精神を信条に活動する学校として紹介されています。

昨年7月9日、大高未来塾に短期留学をお世話しています久保末一さんと、国内外で活躍中の建築家 山下保博さん、地元で活躍中の奄美情報処理専門学校長 福山洋志さんの3名の先輩方は、方言を交えながら明るく積極的な、素晴らしい講義指導を行い、有意義な勉強会でした。最後に、ふる里を忘れない、奄美人としての誇りを持つことなど、島を思う気持ちを伝え、後輩達もふる里を大切にしなければならないと感じ取っていました。

9月24日、警視庁警視正龍一文さんが帰省された際、母校で講演をして頂き後輩達は感動していました。夜は屋仁川で同級生達が40名程集い、私も美酒を飲ませて頂きとても楽しい祝宴でした。

11月26日、島岡稔さんが母校を訪れ、ご令室様が逝去なされた際、多くの奄美関係者が遠く鎌倉まで来て下さったと感謝を述べられ、後輩達へ香典の一部と言われ多額のご寄附をされました。その席で練馬区立中村小学校へ日本復帰交流記念として、奄美の蘇鉄を植樹したいとお話しをしていましたが、今年3月27日、練馬奄美会の総会で賛同されたと新聞で知り、とても嬉しく思いました。また、その総会で書家 勇博道先生の「勇の哲学」が披露され好評であったと、東京支局長の永二優子さんが地方新聞に投稿された記事を拝読して、皆様の日頃の活動に感銘いたしました。

3月27日、スポーツでも教え子が活躍していました。はじめての奄美開催を企画された総合格闘技DEEPに、島袋剛&チカラ兄弟が出演して大活躍し、ふる里にDEEPの魅力を広めてくれました。

終わりに、本日はお招きを頂き誠にありがとうございました。今年で母校も115年になりますが、どうぞ、関東安陵会も益々絆を深め充実発展されますことを祈念致しましてあいさつとします。